

物価高騰から暮らしを守る 予算修正提案

「野菜が高くて食べられない」「お米が高くて買えない」「食材が高くてメニューが決まらない」などの声が寄せられています。

物価高騰で区民の暮らしは深刻です。区長は所信表明で物価上昇の影響について「十分注意する必要がある」と言いますが、注意だけでは不十分です。

2024年度に余る税金(決算剰余金)は55億円を上回る見込みで、実質収支(黒字)比率は適正値である3～5%の2倍の8%です。日本共産党文京区議団はこうした区財政の一部を使い、物価高騰から区民の暮らしを守る総額約30億円の予算修正を提案しました。

区民の暮らしが深刻な状況にあるという認識を持ち、区の潤沢な財政を、物価高騰で悲鳴を上げる区民の暮らしを守るために使うという方針を持つ必要があります。

都が経費の半額を補助始める

学校給食の無償化が前進

福手ゆう子
都議会議員

区議会で7回に渡る給食無償化条例の共同提案で、文京区では2023年9月から給食無償化が始まりました。福手ゆう子都議ら日本共産党東京都議団も4回の条例提案で給食無償化を求め、「国がやるべきもの」(都知事答弁)という後ろ向きの態度を変えさせ、区の給食無償化に対し、都が経費の半分の補助する制度を実現させました。「義務教育は無償」であり、引続き日本共産党は国の全額負担を求めて頑張ります。

主な項目

30億円でこんなことができます！

予算修正案の全文はこちら

教材費、修学旅行等の
保護者負担ゼロ

3.6億円

子どもの国保料均等割ゼロ
18才まで一人6万4100円(未就学児は半額)

1.5億円

75歳以上の非課税者の
医療費窓口負担ゼロ

8.3億円

賃上げ応援奨励金
賃上げを行った中小企業に従業員
一人あたり5万円、最大100万円を支給

3.0億円

障害児放課後等デイサービスの
保護者負担をゼロに

千代田区では保護者の負担が原則ゼロに

2300万円

防災対策の充実
区の非常食の備蓄を1日分増やす。
マンションのマンホールトイレ
設置費助成を増額など

3.6億円

文京区議会から政府へ提出

核兵器禁止条約締約国会議
「オブザーバー参加を
求める意見書」

文京区議会は3月17日、政府へ「核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」を提出しました。2月議会に日本共産党が提案した「核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書案」は全会一致とならなかったものの、公明党提案にあった「締約国会議へのオブザーバー参加」の内容をもとに一致したものです。

政府に提出した意見書には「日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは大変意義深い」とし「被爆80年の意義ある年に、日本が…核兵器のない世界に向けた取り組みを主導していけるか問われている」としています。核兵器禁止条約の署名・批准へ一歩前進です。

シビック改修計画の説明責任果たさず
建設費高騰受け立ち止まるべき

区役所庁舎・シビックセンター(ホール棟が築26年、高層棟は築31年)は2018年度から10年計画で大規模改修が行われ、2023年度までの6年で106億円が投じられ、2024年度は16億円、2025年度22億円かかる見込みです。

当初、区は総額200億円と見込む改修費について、年ごとに「平準化」として言っていましたが実際には毎年大きく変動し、区財政に影響を与えています。

しかも、改修計画の5年目(2022年度)には計画を「見直す」と答弁(2019年1月25日総務委)したのに、8年目である今年度、ようやく見直すとしています。そして、改修計画の区民説明会は一度も行われていません。

党区議団は議会フロアの改修経費1.6億円を削除する予算修正提案を行い、建設費高騰の中でシビック改修はいったん凍結し、最小限の工事に留めるよう求めています。シビック改修を最小限に留める見直しをすれば、区民生活を支援する財源はさらに確保できます。

出典：区ホームページより

シビックの外壁や窓の点検・清掃に使う老朽ゴンドラ5基を撤去し3基新設する工事の経費は、当初の見積もりから6割も高い15億円で、2024年3月から工事が行われています。写真は屋上ヘリポートに設置した仮設クレーン。

「みんなのまち」はチラシではありません。税金を活用して作成している区政報告です。



区民の声が区政を動かす。

大塚4丁目の土地6400㎡購入 学校改築時の仮校舎に使うって!



区は、大塚4丁目にある東邦音楽大学キャンパスを区立小中学校の改築工事中の仮設校舎を設置する代替地として取得します。金額は約138億円で、25年度予算と同時の補正予算で可決されました。4月には土地建物売買契約を結び、東邦音大付属の中高校が移転後、2027年度から区が活用するための工事を行う予定です。

区は、この敷地取得により学校改築工事期間中の子どもたちへの教育環境への影響の低減、工期短縮で工事費縮減が可能としています。

小日向台町小学校の改築の際、校庭に仮校舎を建設すると、騒音や振動が発生する上、校庭が使えなくなります。その期間が8～10年と想定され、子どもたちへの負担は重大です。教育条件の悪化を回避するため学校敷地外に民有地も含めて代替地を確保するよう保護者や地域から議会に請願が出され、党区議団も求めています。

防災・みどり・スポーツにも

党区議団は、まず小日向台町小学校の改築の段取り・スケジュールを早急に示し、防災ニーズにも応え、小石川図書館・竹早公園整備計画にも寄与できる活用方法も検討するよう求めています。



東邦音大の現校舎（春日通りから撮影）



東邦音大のグラウンド

元町公園に続き旧元町小校舎も文化財に —— 関東大震災復興の歴史と文化を後世に ——

元町公園の国の文化財指定に向けた東京都・文化庁との協議が始まることになりました。これは、区民の永年の運動と日本共産党も要求し運動をし続けてきた成果です。文京区文化財保護審議会の意見を尊重し、今年11月の元町公園の竣工予定を待たず、一日も早く文化財に指定されるよう求めています。

旧元町小学校の校舎を活用した「元町ウェルネスパーク」のうち、旧校舎を保存した東館について、区は「国の登録有形文化財に登録できる可能性」を認

めています。文京区の文化財保護審議会で検討し、文化財指定にむけ協議すべきです。

旧元町小と元町公園は「1923年の関東大震災に伴う帝都復興事業の一環として再建・整備された52の震災復興小公園・小学校」の中で、当時の姿を今日に伝える唯一の事例です。

順天堂の提案と住民との協議で決められた「元町ウェルネスパーク」の名称に「震災復興小学校記念」と冠するなどして、歴史的・文化的価値を誰にもわ

かりやすく伝えることが必要ではないでしょうか。これらについても党区議団は、区が順天堂大学に提案し、協議をするよう求めています。



旧元町小校舎の東館と校庭

みなさんの声区政に届けます。

千石・大塚にB-ぐるを

B-ぐるの最終バス 繰り上げ困ります

コミュニティバス「B-ぐる」のダイヤ変更(4/15から)で、最終バスの時間が繰り上がります。平日に繰上がる時間が最も大きいのは目白台・小日向ルート(護国寺と本郷・湯島ルート)の天神下で40分、千駄木・駒込ルート(③指ヶ谷小)が37分です。また、土日は臨時的に時間3便から2便に減ります。

運行する日立交通は区に対し、足立区綾瀬にある車庫に運転手が21時迄に帰るためと説明しています。

党区議団は、シビック庁舎の駐車場を最終バス用の車庫に活用する等、区の責任で影響回避を求めました。また、B-ぐるが区内で唯一走っていない千石・大塚地域への第4ルート早期新設を強く求めました。

区内にバス駐車場
確保を



シビック1Fの駐車場は高さ3.8mあり、B-ぐるが入ります

区立保育園の調理委託 業者選定で重大な過失

区直営に戻し給食の安全 確保へ責任果たせ

(株)レパストの1者の応募となった区立千石西保育園の給食調理業者の選定で、区はレパストから4回の食中毒発生(選定中1回含む)の報告を受けていたのに審査を通過させ、決定寸前に至っていたことが分かりました(区は選定をやり直し、東京フードサービスに決定)。

この原因について区は、幼児保育課内の業者選定と食中毒報告を受ける部門が異なり、体制に問題があったことを認めました。また、調理の人材不足のため、委託を始めた8年前と「状況が変わっている」ことも認めました。

2016年に党区議団が調理委託中止を求めた質問に、区長が「民間事業者のノウハウを活用する」ことで安全な給食を提供できるとした答弁が、今は通用しないことを認めたこととなります。また、委託園では直営園よりも異物混入や手順ミスなどの事故が16%多いことも判明しました。

乳幼児の食事には絶対的な安全が求められます。区立園の保育の質は、文京全体の保育の質を支えており、区立園10園で行われている調理委託はやめて直営に戻すべきです。

竹早公園・小石川図書館一体的整備 区民の声を反映した計画に

竹早公園・小石川図書館一体的整備の計画について、「中間まとめ」の公表後、区民のみなさんから多くのご意見が寄せられました。それを受け、区民や施設を利用する参加者同士の対話によるワークショップ「みんなで考えるミーティング」がスタート。昨年10月と12月に開催されましたが、「さらに十分な調査や検証」「課題の整理」が必要という理由で、3月予定の第3回目は見送ると区が発表しました。

2月議会では、大人だけではなく子どもたちからも「竹早公園・小石川図書館一体的整備計画」に関する多くの請願が出されました。

区全体を見渡した公園や図書館のあり方を検討し、それぞれに必要な面積や機能などを見極め、テニスコートの面数を含めて合意形成を目指す必要があります。引き続き、みなさんの声をお寄せください。

ワークショップは
一旦見送りに!